

ユニセフによるウクライナの子どもたちの命を守るためのご寄付



押原中学校 福祉委員会委員長 山下幹太
福祉委員会担当 漆山大士

東部ヨーロッパに位置するウクライナでは、2022年2月から続く緊張状態、および8年にも及ぶ東部の紛争によって、750万人の子どもたちの命と生活が差し迫った脅威にさらされています。危機の中でも、ユニセフはウクライナ国内に留まり、子どもたちと家族のための支援活動を継続するとともに、周辺国に避難しているウクライナ難民支援も強化しています。

ウクライナ国内の支援活動を拡充し、近隣諸国での難民支援を展開するため、ウクライナ国内の活動に2億7,600万米ドル（約300億円）、周辺国での難民支援に7,300万米ドル（約80億円）の資金支援を国際社会へ求めています（2022年3月現在：1米ドル109円で計算）。これを受け、日本ユニセフ協会は「ウクライナ緊急募金」を受付しています。ユニセフHPより



1錠で4〜5リットルの水を浄化できる浄水器
9,493個分に変わります



軽いけがや病気などに対応するための、包帯、テープ、手袋、はさみ、毛布、創傷膏剤、消毒液などが入っている緊急医薬品キット1キット分
に変わります



生徒40人と先生一人分の基本的な学用品（鉛筆、ノート、消しゴム、定規、色鉛筆1箱、黒板、チョークなど）が入っているスクール・イン・ア・バッグ1セット
に変わります



子どもを寒さから守る、大きめの毛布57枚分
に変わります

昨年度の生徒会本部の活動を引き継ぎ、福祉委員会からユニセフの募金活動への協力をお願いいたします。（SDGsの目標1「貧困をなくそう」、目標3「すべての人に健康と福祉を」に当てはまる活動です。） **6月20日(月)～6月24日(金)の**

8時5分～8時20分の時間帯に、

1年玄関と2・3年玄関で生徒会役員が募金箱を設置します。

ぜひ募金活動へのご協力よろしくおねがいします。